



2022年8月1日

各 位

会社名 住友化学株式会社
代表者 代表取締役社長 岩田 圭一
(コード番号 4005 東証プライム市場)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長
小林 俊二
(TEL 03-5201-0200)

2023年3月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表した2023年3月期の第2四半期(累計)連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上収益	コア営業利益 (注)	営業利益	親会社の 所有者に帰属する 四半期利益	基本的1株当たり 四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,550,000	90,000	85,000	60,000	36.70
今回修正予想(B)	1,570,000	105,000	100,000	85,000	51.99
増減額(B-A)	20,000	15,000	15,000	25,000	
増減率(%)	1.3	16.7	17.6	41.7	
(ご参考) 前期第2四半期累計 (2022年3月期第2四半期)	1,325,210	148,897	144,272	88,884	54.36

(注)コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を控除した経常的な収益力を表す損益概念であり、持分法による投資損益を含みます。

2. 修正の理由

2023年3月期第2四半期(累計)連結業績につきましては、健康・農業関連事業において南米での農薬販売が好調に推移しているとともに、エッセンシャルケミカルズ部門においても石油精製事業の交易条件が良好である見通しです。また、為替相場が前回発表予想よりも円安方向に推移すると想定していることから、輸出手取りの増加や在外子会社の邦貨換算による増益も見込まれます。一方で、情報電子化学においてディスプレイ関連材料の出荷は減少傾向となっております。この結果、コア営業利益、営業利益は、前回発表予想を上回る見通しです。

また、コア営業利益、営業利益の改善に加え、円安の進行により金融損益において多額の為替差益の計上を見込むことから、親会社の所有者に帰属する四半期利益についても、前回発表予想を上回る見通しです。

なお、通期の業績予想につきましては、為替相場や原料価格の動向に加え、世界経済の見通しが不透明であることから、前回発表予想を据え置いております。今後の情勢等により、修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

※ 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上

(補足情報)

2023年3月期第2四半期連結累計期間セグメント別業績予想

(単位:百万円)

		前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	(ご参考) 前期 第2四半期累計
エッセンシャル ケミカルズ	売上収益	570,000	510,000	△60,000	399,485
	コア営業利益	19,000	28,000	9,000	42,043
エネルギー・ 機能材料	売上収益	170,000	190,000	20,000	148,477
	コア営業利益	9,000	10,000	1,000	12,573
情報電子学 化	売上収益	230,000	210,000	△20,000	227,656
	コア営業利益	30,000	23,000	△7,000	29,524
健康・農業 関連事業	売上収益	260,000	315,000	55,000	209,427
	コア営業利益	19,000	37,000	18,000	18,456
医薬品	売上収益	290,000	315,000	25,000	309,580
	コア営業利益	14,000	10,000	△4,000	49,963
その他 全社費用等	売上収益	30,000	30,000	—	30,585
	コア営業利益	△1,000	△3,000	△2,000	△3,662
合計	売上収益	1,550,000	1,570,000	20,000	1,325,210
	コア営業利益	90,000	105,000	15,000	148,897